

今治市立近見中学校（2年生）

えひめジョブチャレンジU-15事業

令和2年10月1日（木）



今治市立近見中学校2年生55人が、今治市で活躍している企業を見学しました。
コロナ禍でも見学を受け入れてくださり、(株)BEMACと(株)ハラプレックスと今治タオル工業組合と(株)菊銀製瓦を訪問しました。

BEMAC <生徒感想>

BEMACって聞いたことはあっても、船などの様々な電気機械を作っている会社とは知りませんでした。日本全国だけでなく世界にも進出している会社の本社が今治にあることを誇りに思います。工場の中はとてもきれいで、実際に製品を作っている人とパソコン操作をしている人に分かれていました。100万円の電気自動車も作っていて、海外で販売されているようでした。すごかったです。



ハラプレックス<生徒感想>

印刷の技術はすごかったです。たった4色とそれ以外の特別な色だけでカラフルな雑誌ができるのと、機械が紙を折ってくれるのは私は知りませんでした。製本なども機械がきれいにできてびっくりしました。他にも、印刷具合にこだわっていて、何度も繰り返し印刷しているのを見て、いいものを創ることにこだわっているのが伝わってきました。



今治タオル組合<生徒感想>

今治タオルは世界でも知名度が高いですが、以前は中国に負けていて、粘り強くいろいろなことを考えて取り組み、成功して今があることを知りました。マークにある赤い色の意味と同じように情熱を感じました。一番驚いたのは5秒ルールです。試験に合格したタオルと、不合格のタオルでは比べ物になりませんでした。吸収性や肌触りはすごかったです。



菊銀製瓦 <生徒感想>

瓦造りで一番驚いたのは、機械で作れる瓦もありますが、鬼瓦は一つ一つ手作業で作るところです。細かい作業が多くてすごかったです。また、セメントより強くて長持ちし、自然な素材だけでできているので、土に返すことができ環境にもよいと知りました。最近では、使用が減り、ランプシェードなど小物も作っていると聞きました。長い歴史を持った瓦は素晴らしいので、世界に広まってほしいと思いました。

